進路だより

『夢をかなえるために……』

札幌市立東白石中学校
第３学年　　進 路 係
第 66 号
2026年11月４日発行

進学を考える（その２）

高校卒業後の進路について

［№63の続きです］

短大卒の教養・学力が問われる職種も

専門学校と短期大学は､職業に直接結びついた教育機関という共通点がありますが、短期大学は一般教養を重視している点で､専門学校とは異なっています｡したがって、短期大学卒業あるいは、同程度の教養を必要としている試験があります。たとえば、次のような職種です。

外務省専門職員、裁判所職員一般職、地方公務員中級（Ⅱ類)、航空管制官、通関士、東京消防庁消防官Ⅱ類、警視庁警察官Ⅱ類……などです。

短期大学の入学試験は、高校からの推薦によるものが大多数ですから、短期大学に進学しようか、専門学校に進学しようかと迷う人が多いのです。ただ、職種によっては、一般教養が重視されるということを考えると、将来の職業を視野においた選択が必要ということになります。

短期大学が推薦入学を重視するのは、高校全体を通じて学び取ったものを重視するからです。短期大学は専門教育の機関ですが、４年制大学とは違って研究の時間が少ないので、講義・実習などの授業が軸になっています。つまり、高校の授業方法ととてもよく似ています。短期大学は、高校生活の延長線上にある、と言ってもよいでしょう。

一般に、短期大学に進学する場合には、①高校教育の基礎の上に文化・教養を深めるのか、②特定専門分野の知識・技能を集中的に学ぶのかという選択をすることになります。特に、②の特定専門分野を学ぶという場合は、専門学校の教育内容と競合しますから、将来受験しようと思う採用試験に、一般教養科目があるかどうかを考えておく必要があります。

推薦入学希望なら、１年の夏休みに計画を

学校推薦型選抜を安易に考え、「高校が推薦すれば合格するんだ」と信じ込んでいる高校生がいます。これは、とんでもない間違いです。

高校から大学への推薦型選抜には大まかに２種類あり、「指定校制（大学から特定の高校に対して推薦枠を指定する)」と「一般公募制（すべての高校から推薦を受け付ける)」に分かれています。推薦は主として、高校在学中の「学習成績評定平均値」を基準にして行われますが、国・公立大学や有名私立大学に合格するには、評定平均値「4.0～4.5」程度は必要なようです。短期大学でも、多くの学校は「3.5」以上が合格ラインになっているようです。したがって、推薦で落ちたら一般選抜でもう一回挑戦するんだという二段構えでないと、質の高い大学・短大への合格は難しいと考えるべきでしょう。“私は推薦でいくのだから、受験勉強しなくてもいいんだ”という考え方は、非常に甘いのです。１年生時代をボンヤリと過ごし、２年生で“進学できたらいいなあ”などと空想し、３年で“受験勉強しなくてもいい大学に”などと考えることは、非現実的なのです。

「進学する」という決心は、遅くとも高校１年の夏に固めなければ間に合わないのです。なぜなら、推薦の（もちろん一般選抜でも同じですが）決め手となる「学習成績評定平均値」は、１年から３年までのすべての成績を平均したものだからです。そもそも学校推薦型選抜や総合型選抜（旧ＡＯ入試：大学の入学管理局が定める選考基準に基づいて、学力試験以外に、高校の成績や志望理由書、小論文、面接などで人物を評価し、入学の可否を判断する選抜制度）を取り入れる大学が増えているのは、１度のペーパーテストの結果では、どんな学生なのか見当がつかないからなのです。高校在学中の学校生活の総体を見て判断しようという、大学改革の大きなうねりの一つなのです。

だから１年の夏に決心し、そのつもりで頑張らないと、間に合わなくなってしまうのです。

【参照：「進路指導の要点」　関根庄一 著】

説明会のお知らせ

◇札幌北高校（定時制）　学校説明会

１．**実施日**　１１月２０日（金）１７：３０～１９：１５
※受け付けは、１７:００からです。

２．**場　所**　札幌北高校（北区北２５条西１１丁目）彩風館
※会場の彩風館は、高校の駐車場に隣接した記念館です。

３．**内　容**　全体説明会、授業参観（希望者のみ）など

４．**その他**　生徒のみでの参加は認められていません。必ず、保護者同伴で参加してください。また当日は、上靴・靴袋・筆記用具を持参してください。

５．**申し込みについて**
北高校定時制のＨＰ上にある PDF ファイルを利用して、高校へ直接申し込んでください。締め切りは、**１１月１７日（火）17:00**です。

☆通信制の星槎国際高校札幌北学習センターから、オープンスクール（11/11、11/25）の案内が届きました。内容は、17:30から45分程度の体験学習および18:15からの個別相談（希望者のみ）となっています。参加希望者は高校ＨＰを利用して、直接高校に申し込んでください。各日限定５組となっていますが、定員に達するまでは受け付けてくれるようです。